**CCDO協同事業委員会**

2020年12月21日（月）18:30〜20:30　（Zoom会議）

出席者:12名

委員：　岩佐(委員長)／渡辺（副委員長）／安楽／金子／佐伯／佐藤／須賀／藤森／和田／

オブザーバー：　安藤会長／鯉江（広報委員長）／黒田（副事務局長／議事録作成）

**デザインシリーズセミナー**

（渡辺副委員長）

趣意書(案)について説明

（岩佐委員長）

後援依頼先宛の趣意書(案)

今後、岩佐、渡辺がメインで原稿作成、安藤、鯉江で精査して最終版を作成する。

＊後援依頼先について

教育委員会はテリトリーが異なるので省く。

後援依頼書類には予算書が必須。

行政関係には収益性のない事業であることを説明する必要がある。

＊委員会の専用口座について

　口座名義はCCDO協同事業委員会　委員長　岩佐泰樹

　正式名が長いので略称を登録。

　岩佐委員長が銀行の口座開設手続きを行う。

＊セミナー参加費について

　4回通しで10,000円　各回単独4,000円が妥当か？

各回単独4,000円は割高ではないか？　→ 割高感があるので3,000円でよいのではないか。

→　最終決定　4回通しで10,000円　各回3,000円

＊フライヤー記載内容について

表面：「グループワークでのアイデアシートの持ち帰りができる」と記載するのは問題があるのではないか？

実際の運営上、クオリティを保ったアイデアシートを当日配布できるかが不安。

当日ではなく、後日配布という方法では？

→ フライヤー記載内容は修正する。

裏面：全体として文字量が多いのでもっと減らしたい。

上段の「お困りごと・・」の内容は表面の「セミナーに期待できること」と重複する部分もあるし、第1回〜4回のセミナーのステップとの間連もわかりづらいので削除した方がよい。

その分、各回のテーマと講師プロフィールを見やすくした方がよい。

→ フライヤー記載内容、レイアウト修正

**CCDO内プレイベント（リハーサルセミナー）**

　（佐伯）

CCDO内プレイベント（リハーサルセミナー）案の説明

グループディスカッションの運営方法は試験的に異なるスタイルで試してみるのがよいのではないか。

本番で実施する人数を想定。

＊複数のホストを設定するのは可能か？

→　ホスト２名おくことは可能（共同ホストの設定）。ただし自由にブレークアウトルーム移動ができるのは

ホスト１名のみ。共同ホストはホストによって割り当てられたブレークアウトルームに参加する場合のみ、

ブレークアウトルームを退出または参加できる。

（参考）<https://symphonict.nesic.co.jp/workingstyle/zoom/co-host/>

　Zoomを使ったミーティングで共同ホストを設定する方法とは

共同ホストはホストのサポートを行う。

＊グループ分け→ グループごとにZoomアドレスを設定する方法もあるのでは？

＊グループディスカッションで参加者がホワイトボードに書き込みするのはうまく機能するか？

　原則は書記が書き込みしていく。

＊運営に必要な要員

　ホスト（１名）

　共同ホスト（１名）

　各グループ：ファシリテーター１名＋書記１名

＊CCDO内プレイベントのテーマ：「ビジネス環境の変化とデザインの役割」

　進行タイムテーブルは渡辺＋佐伯で作成。

＊日程：2021年3月第１週または第2週で設定する。

　CCDO各構成団体から強制的にでも参加してもらわないと参加者が集まらないのではないか？

　12/22のCCDO理事会で協力を要請。

**メッセナゴヤについて**

（和田／佐藤）

オンライン名刺交換： 23社

　デザイン相談は特になし。緊急に対応する必要がある案件はない。

　メッセナゴヤの参加者数も約10,000人弱で例年の１／６

　名刺交換の企業もほとんど自社PRが目的で、デザイン相談には結びつかない。オンラインでの難しさがあった。

**今後の予定**

下記担当がメインで準備を進める。

趣意書・企画書・予算書　→ 岩佐・渡辺

プレイイベント　→　渡辺・佐伯

銀行口座開設　→　岩佐

フライヤー　→　鯉江

●次回　協同事業委員会

2021年1月12日（火）18:30〜　Zoom会議